

令和5年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<飛騨地区> 神岡中学校・山之村中学校・飛騨神岡高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

(1) 連携型中高一貫教育の目標

「ともに育てよう元気な神岡の子」をめざし、

- ①未来の創り手となるために必要な資質・能力を身に付けた子
- ②自分に自信をもち、夢や目標に向かって挑戦する子
- ③地域に愛着と誇りをもち、地域に貢献できる子

を育てる。

(2) 連携型中高一貫教育の令和5年度の重点

- ・中高教員の授業交流活動の充実による自分から学ぼうとする力の育成
- ・地域の人や産業から学ぶ体験学習の充実による目標に向かって挑戦する心の醸成
- ・生徒、保護者、地域との交流活動の推進による地域に貢献する態度の育成

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

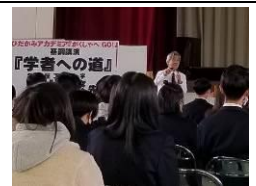
目標	取組	成果と課題
資質・能力を身に付けるために	自分から学ぼうとする力の育成	<p>○中高の教科担任による出番や役割を共通理解し、生徒の実態に応じた指導ができ、生徒評価の大半が授業や交流について肯定的であった。Step by Step 面談では生徒が自分に必要な学習について理解を図ることができた。</p> <p>▲「中学の学びが高校の学びにつながっていることを実感できる高校教員のT1による授業」やStep by Step 面談の事前・事後指導を充実させたい。</p>
	授業交流 先輩との交流	<p>○系統的な学習指導や専門的な助言を得られる場、高等学校についての理解や進路の検討ができる機会として有意義だった。</p> <p>▲中学3年生と高校3年生の先輩と語る会については、11月の三者懇談前に実施して進路選択とつなげていきたい。</p>
	中高教員の交流	<p>○昨年度に続いて夏期の高校授業公開と教員交流を実施できた。特に小学校、中学校の教員が参加し、高校の実態や特色、互いの指導の状況や考えを知って意見交流するよい機会となり、教員の学びとして貴重な場であった。</p> <p>▲授業交流の始まる前に打合せの機会を設け、授業のタイミングや授業方法などの見通しをもち共有したい。</p>
目標・夢 挑に 戦向 すか るつ ため に	出前授業	<p>○高校生による租税教室では、高校生は商業の授業を活用して自身の学びを深めながら教え、中学生は身近な先輩による授業に意欲や関心をもって取り組めた。</p> <p>▲出前授業や交流活動で、山之村中学校との連携をしっかりと取る必要がある。</p>
	職場体験学習 校内企業展 わくわくワーク 社会人講話	<p>○校内企業展やわくわくワーク、社会人講話では、地元企業の方や専門家を講師として招いた。地域や企業についての理解だけでなく、仕事内容や必要な資格、職業観などを学び、将来の進路を考える上で学ぶことが多かった。</p> <p>○地域人材や企業についての情報を交流・共有することで教育活動につながるとともに、地域ぐるみで生徒を育てる意識が向上した。</p>
	部活動体験	<p>○部活動交流では、普段体験できない中学校にはない部活動を体験し、授業以外の高校生姿に触れあうことができ、貴重な体験となった。</p>
の地 域 た め に に 貢 献 す る 態 度 の 育 成	地域での 合同活動	<p>○ふれあい挨拶運動では、コロナ禍での制限されたものと異なり、肘タッチやハイタッチを交えて子ども同士触れ合うことができ、元気な姿や反応が増えて満足感が高かった。</p>
	地域との 交流の推進	<p>○MSリーダーズやMSJリーダーズによる交通安全運動で警察と協力したり、高校生による情報モラル学習会などで保護者も一緒に学んだりして地域に貢献できた。</p>
	地域をつなぐ 情報発信	<p>○中高一貫教育や文化祭などの各校の取組、地域との連携事業について、学校だよりを通して発信することで、地域の方に関心をもってもらうことができた。</p> <p>▲既存の体育祭や合唱コンクール等の場を生かし、各学校行事に参加し合ったり、SNSを活用して意見交流したりして、学校間や地域との連携を進めていきたい。</p>



【高校教諭授業の様子】



【中高職員交流会】



【社会人講話】



【ふれあい挨拶運動】